

第23期通常総会

2025年度事業計画

2025年5月31日

代表理事 柴田憲男

2025年度を迎えて

会員各位の日頃の努力により、たんけん工房の世間の評価はかなり高いと認識しています。

これからますます、世間の期待に沿うよう、更に活動を活発化させ、地域社会の発展並びに子どもたちの科学への興味の増進に寄与していくよう期待されています。

一方、たんけん工房を取り巻く情勢は、少子化・高学年の多忙化、高齢化など、変化してきましたが、これらの変化に対応しながら、会員の持つ知恵と経験を生かして、さらなる工夫と努力を続けて行きたいものです。

他方、ボランティアスタッフの多様な生きがいを大切にし、モチベーションを高めるための、新たな活動の仕方を皆さんの知恵を集めて検討しその具体化していきましょう。

事業施策ー1

◆おもしろ科学体験塾

- たんけん工房の主事業として、
テーマ数、質・内容、会場数、参加者等の更なる向上を目指す。
- 今年度は、川崎市教育委員会の後援も実現して、本格実施となる。
全地区で開催予定講座は200回を超える。
- 工房の目的の一つである家庭での会話の実現を図るため、
保護者にも積極的に参加してもらおう「保護者班」を実現していく。

事業施策－2

◆出前塾・イベント出展

たんけん工房の活動が、地域にも広く評価され、
地区センター等各種の団体から依頼が増えてきた。

- 地域貢献のために、「出前体験塾」等を積極的に引き受ける。
- これらを実現するために、新規テーマの開発、主任の増員を実現する手段を模索する。
- 身近な、地域の方々にも、スタッフとして参加するよう、声掛けをする。

事業施策－3

◆学校支援

- 土曜特別授業、総合の時間、科学クラブ、PTA主催等からの依頼は、積極的に引き受けていきたい。
- 現在受けている、科学クラブ支援等は、内容をさらに充実させるなど、児童の満足度向上に努める。
- チラシ配布など学校訪問の折、極力先生方との会話の機会を作り、リレーションシップづくりに努める。

事業施策－4

◆特別教室

- 「中学生のための飛行機教室」は、
希望者を1校に集めて実施している。
- しかし、従来の会場校が
毎回の開催にやや難色を示し始めている。
- そろそろ、数校に出前する
「分散学級」に移行する時期かもしれない。

事業施策－5

◆低学年塾

- 北2地区で始まった、低学年塾は、東地区も3会場になった。
今後、北2地区での開催と連携が必要。
- 藤沢地区での開催が実現。毎月開催委ではないが展望が開けた。
- 科学塾としての低学年塾の運営には、
金沢子ども科学財団の「子ども科学スタジオ」が参考になりそう。

事業施策－6

◆活動の拡大、新規展開

川崎市

- 川崎市への展開は
教育委員会の後援取り付けや、数会場での体験塾開催など
足場が出来上がった。
- 川崎市の体制を確実にするために、
引き続き、会員の確保に努めていく。

藤沢周辺

- 茅ヶ崎、寒川、海老名、大和等への展開機運が高まっている。
- 今年度は、これら地域での足場固めをすすめるため、
出前塾の受け入れ、体験塾の実現、同地区の会員の確保を図る。

財政 賛助会員

2024年度は、会員各位の理解と努力により、
体験塾参加者、寄付、賛助会員も増やすことができました。

- 今年度は、目前まで来た収支均衡を達成すべく、
引き続き同じ施策に取り組んでもらいたい。
- 支出については、特に材料費の高騰が気にかかる。
更なる材料費の低減努力に加え、
「体験塾のテーマの価値」も考慮しながら、
随時参加費の見直しを意識していく。
- 工房活動で、会員が普段から心がけている「無理」「無駄」の吟味を
引き続き期待してゆく。

会員確保と質の向上－会員が楽しく活動するために－1

◆スタッフ体験講座：新しい活力を迎え入れ続ける

従来どおりの内容で年間を通じ3回実施する。

藤沢地区計画 1回（定員15名）

横浜地区計画 【前期】定員30名 【後期】定員30名

◆主任のなり手：「本当はやってみたい」人が結構いる

素質も、やる気もあるのに、

事情により主任を受けられないのは勿体ない。

- 主任の負荷軽減のため、

各グループ内で準備作業の役割分担、応援・分散などを進めて行く。

- 新しい発想での環境整備で、新しい主任の実現に取り組む。

会員確保と質の向上－会員が楽しく活動するために－2

◆新テーマの発掘：

- 新テーマの発掘をどのようにするか、大きな課題と捉えている。
- 個人の発想だけに頼まず、組織的にも議論してゆきたい。

◆会員それぞれに合った出番と役割を：

自分なりに、それもやってみようという

雰囲気づくり、環境づくりも重要です。

- 会員間の交流を活発にし、相互啓発を図っていく。
- そのために、以下の活動を引き続き企画しその充実を図る。
全体交流会、アイテム交換会、会員向け工具の使い方・部品の作り方教室、
体験塾体験会、見学会など
- 入会時から各自の経験をできるだけ早く生かせるような取り組みを。
例えば、お互いの得意な分野・やりたいこと、夢を話せる場作りなど。

運営と課題

◆新たなアプローチ：

たんけん工房の主幹事業である

「おもしろ科学体験塾」で培われたものを活用するなど、

新たな「事業」の実現に、自主的に取り組んでほしい。例えば、

- 中学生を対象とした「おもしろ科学体験塾」
- 一部で始まっている、保護者やシニア層を対象とした、「大人の体験塾」の拡充。

◆体験塾募集方法の強化検討

小学校で「すぐーる」の導入が広がっているのを機に、

更なる、多様な募集手段を作り上げる。

「すぐーる」の活用、メール募集の更なる工夫、QRコードその他の手段等

◆広 報

- 広報機能を創設しました。
- たんけん工房のアイデンティティを高めるため、広報活動を活性化したい。